

# 野菜と果物ガイド



2018/10



札幌みらい中央青果株式会社

品目	前年の動き							10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
ながねぎ	上	259,771	264	北海道	99%	B	弱保	道内産は渡島、空知、胆振産の入荷。 台風21号による強風のため、渡島を主とした地域でねぎの倒伏が多くみられ入荷量が減少。 他産地に関しては、概ね平年並みの入荷見込み。
	中	301,563	263					
	下	352,389	333					
	月計	913,723	290					
				その他	1%			
ほうれんそう	上	53,241	635	北海道	100%	C	保合	道内産は渡島、桧山、胆振、石狩、上川産の入荷。 台風21号や地震の影響で、胆振地区が作付、出荷ともに減少。 他産地に関しては、作付は平年並み、入荷量は昨年並みの見込み。
	中	86,048	514					
	下	62,152	666					
	月計	201,440	593					
				その他	0%			
にら	上	19,090	919	高知	45%	-	強	高知県産の入荷。 台風21号の影響で、出荷減少、産地価格高となっている。  道内産は渡島産主力の入荷。 地震による停電や稲刈り等の作業が重なって端境期となっており、入荷量は減少。
	中	22,620	831	北海道	41%	C	強保	
	下	23,140	1,238					
	月計	64,850	1,002					
				その他	14%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
レタス	上	226,182	136		北海道	72%	C	強保	道内産は石狩、上川産の入荷。 石狩産は生産者によりばらつきはあるが、中旬頃までは継続的に入荷する見通し。 上川産は天候次第ではあるが、中旬頃まで出荷がある見通し。上旬に出荷終了の生産者もあり。  茨城県産の入荷。 作付面積は昨年並み。 定植時期が高温であったため、昨年に比べ正品率が低い、入荷量は昨年並み。 サイズはL中心で、10月中旬頃から入荷の予定。
	中	220,340	133		茨城	27%	A	保合	
	下	212,760	232						
	月計	659,283	166						
					その他	0%			
セロリ	上	19,876	169		北海道	92%	C	保合	道内産は網走、胆振産の入荷。 網走産は定植自体は昨年並みだが、前半の出荷が小株中心だったため、数量が減少。 10月中旬までの販売予定であったが、寒波被害等あれば上旬での販売終了の可能性あり。 胆振産の定植は今年の半分。 小株中心での出荷見込みで、中旬から抑制ものが入荷予定。 入荷量は今年の半分ほどになる見込み。
	中	20,931	164						
	下	20,448	205						
	月計	61,254	179						
					その他	8%			
ブロッコリー	上	233,229	373		北海道	100%	C	保合	道内産は胆振、十勝産の入荷。 胆振産の作付面積は昨年並み。 9月は台風の影響がみられたが、10月上旬からは回復傾向。 10月いっぱいまで20玉中心での入荷見込み。 十勝産の作付面積は昨年並み。 10月上旬に出荷ピークを迎え、中旬以降は漸減。 サイズは20玉が中心になる見込み。
	中	320,666	366						
	下	197,145	428						
	月計	751,040	384						
					その他	0%			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
だ い こ ん	上	649,268	57		北海道	99%	B	保合	道内産石狩、十勝、後志、釧路産の入荷。 作付面積は昨年と変わらず。 生育は概ね順調。 入荷量は昨年とほぼ変わらず。
	中	933,881	53						
	下	1,214,051	69						
	月計	2,797,200	61						
					その他	1%			
か ぶ	上	39,236	110		北海道	98%	B	保合	道内産桧山、石狩、十勝産の入荷。 作付面積は昨年と変わらず。 生育は概ね順調。 入荷量は昨年とほぼ変わらず。
	中	63,921	94						
	下	133,416	100						
	月計	236,573	100						
					その他	2%			
は く さ い	上	546,490	45		北海道	100%	B	保合	道内産空知、石狩、上川、十勝産の入荷。 作付面積は昨年と変わらず。 生育は干ばつの影響で小玉傾向。 入荷量は月前半は減少傾向だが、中旬から増量の見込み。
	中	528,985	46						
	下	593,092	58						
	月計	1,668,567	50						
					その他	0%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キ ヤ ベ ツ	上	697,904	52		北海道	99%	B	保合	道内産上川、胆振、空知、石狩産の入荷。 作付面積は昨年よりやや減少。 生育は概ね順調。 入荷量は昨年よりやや減少。
	中	710,725	44						
	下	1,184,095	64						
	月計	2,592,723	55						
					その他	1%			
ば れ い し よ	上	883,868	83		北海道	100%	B	保合	道内産石狩、後志、十勝産主力の入荷。 作付面積は昨年より微減。 6月の低温、干ばつ、6月下旬～7月上旬の長雨、中旬以降の高温により生育が悪い。 小玉傾向で、昨年と比べ玉付きが悪い。 入荷量は昨年よりやや減少の見込み。
	中	1,347,827	75						
	下	960,512	87						
	月計	3,192,207	81						
					その他	0%			
た ま ね ぎ	上	1,058,328	60		北海道	100%	B	保合	道内産は石狩、空知、上川、網走産の入荷。 作付面積は昨年と変わらず。 石狩、空知、上川産については小玉傾向。 網走産は昨年より小玉なもの、L大、L中心になる見込み。 全道的に9月末頃に稲刈りが終わり、10月には入荷量が増える予想。
	中	1,596,979	61						
	下	2,120,700	62						
	月計	4,776,007	61						
					その他	0%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き							10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
にんじん	上	715,442	64	北海道	100%	B	強	道内産石狩、空知、後志、十勝、網走、上川産主力の入荷。 作付面積は昨年より減少。
	中	697,498	60					7月の長雨の影響のため、中旬頃に品薄になる見込み。 現在すでに廃棄になる原料が多発しており、今後の入荷量は減少、高値での推移を予想。
	下	923,668	73					
	月計	2,336,607	66					
				その他	0%			
ながいも	上	37,469	450	北海道	100%	C	強保	道内産十勝産の入荷。 天候に恵まれ、生育は順調。
	中	85,223	303					貯蔵品の販売が終了期のため、入荷量は減少し、高値推移の見込み。
	下	69,050	259					
	月計	191,742	316					
				その他	0%			
かぼちゃ	上	312,433	97	北海道	100%	B	強	道内産石狩、空知、上川、後志、胆振、十勝、渡島産主力の入荷。 作付面積は昨年よりやや減少。
	中	445,034	71					7月、8月の天候不順により、大幅に収量減。 入荷量も2～3割の減少見込みで、高値を予想。
	下	382,242	89					
	月計	1,139,709	84					
				その他	0%			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き							10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
か ん し よ	上	124,114	162	茨城	91%	B	保合	茨城県産の入荷。 生育期の天候不順により正品が少ない。 入荷量も減少の見込み。
	中	143,070	180					
	下	105,961	187					
	月計	373,145	176					
				その他	9%			
ご ぼ う	上	86,056	133	北海道	98%	B	保合	道内産は十勝産主力の入荷。 生育期の天候不順によりM、L中心の入荷見込み。 入荷量は減少の見込み。
	中	154,832	127					
	下	120,188	130					
	月計	361,076	129					
				その他	2%			
さ と い も	上	3,465	397	埼玉	34%	B	強保	埼玉県産の入荷。 作付面積は昨年より減少。 宮崎県産の入荷。 作付面積は昨年より減少。 現在、病気が発生しており10月の出荷はやや減少の予想。 品種(白芽)が変わり、平年並みの出荷量になることを期待。 千葉県産の入荷。 作付面積は減少。 宮崎県産同様病気が発生しており、平年並みの出荷量は期待できない。 入荷量も少ない予想。
	中	3,325	405	宮崎	32%	B	保合	
	下	5,189	368	千葉	14%	B	強保	
	月計	11,979	386					
				その他	20%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				

品目	前年の動き							10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価	産地	構成比	出荷現況	価格見通	
き ゆ う り	上	235,167	217	北海道	88%	C	弱	道内産は上川、空知、日高、渡島産の入荷。 作付面積はやや減少。 抑制栽培の産地が中心となり、生育は順調。 入荷量は昨年並みの見通し。
	中	172,566	230					
	下	125,391	717					
	月計	533,124	339					
				その他	12%			
な す	上	120,090	281	茨城	49%	C	強保	茨城県産の入荷。 作付面積は昨年並み。 気温の低下に伴い、肥大が遅くなってきている。 台風21号によるスレ果、病気等は回復に向かう予想。 入荷量は平年並みかやや減少の見込み。 高知県産の入荷。 作付面積は昨年並み。 定植時期からの高温で生育が鈍くなっている。 気温、天候が落ち着くにつれて、順調な生育に向かう予想。 入荷量は平年並みかやや減少の見込み。中旬以降は増量の予想。
	中	139,973	254	高知	41%	A	強保	
	下	74,425	525					
	月計	334,488	324					
				その他	10%			
ピ ー マ ン	上	71,713	262	北海道	100%	C	強	道内産は日高、上川産の入荷。 作付面積は台風21号の影響で、一部産地で減少。終了期も前倒しになる可能性あり。 入荷量は昨年より少ない見込みで、府県産の販売が早まる予想。
	中	80,723	228					
	下	74,444	407					
	月計	226,880	297					
				その他	0%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)				
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)				



品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
トマト	上	203,550	355		北海道	97%	C	保合	道内産は日高、渡島産の入荷。 台風、地震の影響で、各産地の切り上がりが平年よりも早くなる見込み。 入荷量は平年より少ない見込み。
	中	170,674	361						
	下	189,124	345						
	月計	563,348	353						
					その他	3%			
さやえんどう	上	2,825	1,633		北海道	88%	C	保合	道内産は石狩、桧山、十勝産の入荷。 作付面積はやや減少。 生育は概ね順調。 入荷量はやや減少。
	中	2,206	1,709						
	下	1,937	2,208						
	月計	6,968	1,817						
					その他	12%			
生しいたけ	上	17,962	748		北海道	100%	-	保合	道内産は胆振、根室、石狩産主力の入荷。 作付面積は昨年並み。 生育は概ね順調。 入荷量は昨年並み。
	中	21,962	717						
	下	25,061	712						
	月計	64,985	724						
					その他	0%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		構成比	出荷現況	価格見通		
な め こ	上	8,744	374		北海道	95%	-	強保	道内産は上川、石狩、渡島産の入荷。 作付面積はやや減少。 生育は停電の影響により、発生不良を起こす可能性がある。 入荷量は昨年より減少する見込み。
	中	9,132	379						
	下	10,830	364						
	月計	28,706	372						
					その他	5%			
え の き	上	15,901	303		北海道	99%	-	強保	道内産は上川産の入荷。 作付面積はやや減少。 生育は停電の影響により、発生不良を起こす可能性がある。 入荷量は昨年より減少する見込み。
	中	16,083	304						
	下	19,686	284						
	月計	51,670	296						
					その他	1%			
し め じ	上	10,126	534		北海道	52%	-	強保	道内産は停電により壊滅状態のため、本州産に切り替える予定。 長野県産の入荷は状況に応じて行う予定。
	中	18,947	428		長野	44%	-	強保	
	下	49,515	345						
	月計	78,588	389						
						5%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
かき	上	370,621	245		和歌山	53%	B	保合	和歌山県産の入荷。 台風21号の影響で落果、枝折れ等の被害がみられ、入荷量は減少の見込み。
	中	560,978	188		新潟	33%	A	保合	『刀根早生』のピークは10月初旬、玉流れは L>2L>M となる見込み。
	下	490,826	198						新潟産の入荷。 日焼け果、生理的落果等の発生により、昨年を多少下回る作況の見込み。
	月計	1,422,424	206						入荷は10月上旬から始まり、玉流れは L=M になる見込み。
					その他	14%			
メロン	上	118,973	428		北海道	99%	C	保合	道内産は上川、胆振、後志産の入荷。 作付面積は昨年並み。
	中	125,108	423						出荷は全体的に若干遅れ気味で、入荷量は昨年並み乃至若干増の見込み。 玉流れは昨年同様5玉中心の予想。
	下	127,846	374						上川、胆振に関しては中旬が終了期。 後志は10月いっぱい入荷の見込み。
	月計	371,927	408						
					その他	1%			
みかん	上	127,653	244		和歌山	55%	A	保合	和歌山県産の入荷。 台風21号の影響で落果がみられ、特に極早生の被害が大きい。
	中	317,958	250		佐賀	13%	A	保合	玉流れは S>M>L になる見込み。 佐賀県産の入荷。
	下	392,170	238		愛媛	11%	A	保合	昨年並みの作況となる見込みだが、生育期の天候の影響により外成り部分に若干の焼け果が発生。 玉流れはS中心でM多目になる見込み。
	月計	837,780	244						愛媛県産の入荷。 作付面積は昨年並み。
					その他	22%			台風20号、21号の影響は限定的で、入荷は昨年よりやや多い見込み。
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
りんご	上	174,378	222		北海道	62%	B	保合	道内産の入荷。 台風21号の影響により、全体で1割の落果被害、スレ、傷果等の被害が出る予想。 10月中旬頃に『早生ふじ』、10月下旬には『レッドゴールド』のピークとなる見通し。 青森県産の入荷。 台風21号の影響により、全体で3%~5%の落果被害が出ているという情報。 10月上旬に『早生ふじ』、『トキ』、10月中旬に『レッドゴールド』の入荷予定。
	中	302,407	232		青森	36%	B	強保	
	下	309,077	210						
	月計	785,861	221						
					その他	2%			
巨峰	上	13,029	862		福島	61%			福島県産、山梨県産の入荷。 干ばつの影響があり、小房で全体量は少ない。 平年よりも切り上がりは早くなる見込み。
	中	10,393	840		長野	21%			
	下	5,637	801		山梨	18%			
	月計	29,060	842						
					その他	0%			
キャンベル	上	13,862	343		北海道	94%	C	強保	道内産の入荷。 6月の日照不足により、優品率が高く加工向けが増加。 正品率の低下により市場出荷が減少する見込み。
	中	9,088	335						
	下	7,424	273						
	月計	30,374	324						
					その他	6%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
ナ イ ヤ ガ ラ	上	19,502	348		北海道	97%	B	強保	道内産の入荷。 9月中の生育は順調だったが、台風被害のため入荷量は昨年よりやや減少の見込み。
	中	15,574	338						
	下	12,710	332						
	月計	47,786	340						
					その他	3%			
な し	上	207,985	197		新潟	45%	B	保合	新潟県産の入荷。 『新高』、『新興』中心の販売。 台風により、1割程度の落果がみられる。 道内産の入荷。 作付面積は減少。 台風により、落果、スレ果が多くみられる。
	中	164,425	215		北海道	26%	B	保合	
	下	153,603	227						
	月計	526,013	212						
					その他	29%			
く り	上	2,334			茨城	76%	B	弱保	茨城県産の入荷。 入荷量は昨年に比べ増加。価格も昨年より早く落ち着いてきている。 雨の影響により、やや傷みがみられる状況。 玉流れは2L、L中心になる見込み。 熊本県産の入荷。 10月中旬頃から『利平栗』の入荷予定。 玉流れは4L、3L中心になる見込み。
	中	1,605			熊本	14%	B	弱保	
	下	1,463							
	月計	5,402							
					その他	9%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
キ ー ウ イ	上	27,014	598		ニュージーランド	95%	B	保合	ニュージーランド産の入荷。 『ゴールドキウイ』は10月上旬で入荷終了、以降は残量販売の予定。
	中	25,244	538						『グリーンキウイ』は豊作傾向。 10月上旬で『ゴールドキウイ』の入荷が終了するため、『グリーンキウイ』の入荷が増加する見込み。
	下	38,806	565						
	月計	91,064	567						
					その他	5%			
バ ナ ナ	上	235,272	167		フィリピン	90%	A	保合	フィリピン産の入荷。 入荷量は変わらず、順調に入荷できる見込み。
	中	258,368	154						高糖度系の商品が多少減少するが低糖度系の商品が増加する見込み。
	下	274,435	151						
	月計	768,074	157						
					その他	10%			
パ イ ン	上	39,854	229		フィリピン	98%	A	保合	フィリピン産の入荷。 小玉傾向だったものが大玉傾向になっていく見込み。
	中	40,943	234						入荷量は微増の予想。
	下	44,121	225						
	月計	124,917	230						
					その他	2%			
(表の見方)				1. 昨年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					

品目	前年の動き								10月の産地状況と概況見通し
	旬別	入荷量	単価		産地	構成比	出荷現況	価格見通	
レモン	上	11,166	354		チリ	86%	C	保合	チリ産の入荷。 生育は順調だが、小玉傾向。 入荷量は昨年並みの見込み。
	中	12,888	361						
	下	10,565	341						
	月計	34,620	353						
					その他	14%			
グレープ	上	35,369	125		南アフリカ	96%	C	保合	南アフリカ産の入荷。 入荷は9月いっぱい、10月は残量販売になる予定。 サイズによっては品薄になる見込み。
	中	35,887	100						
	下	36,261	111						
	月計	107,517	112						
					その他	4%			
オレンジ	上	15,918	248		オーストラリア	81%	B	保合	オーストラリア産の入荷は順調。 南アフリカ産の入荷は9月いっぱい、10月は残量販売の予定。
	中	16,481	251		南アフリカ	18%	C	保合	
	下	14,093	256						
	月計	46,492	252						
					その他	1%			
(表の見方)				1. 前年の動き (入荷量:kg 単価:円/Kg 構成比:%)					
				2. 出荷現況 A:出始め B:最盛期 C:終末期 価格見通しは昨年同月比(保合、強保、弱保、強、弱)					